

公開シンポジウム

阪神・淡路大震災30年と次世代の多文化共生 ～問われる日本の教育と若者の未来～

6,434人が犠牲となった阪神・淡路大震災から、2025年1月17日で30年を迎える。多くの被災外国人への支援活動や互いの助け合いから「多文化共生」という言葉が全国に広まった。

本シンポジウムでは、外国ルーツの若者たちの進路、特に大学進学に焦点を当て、この30年間で何を達成し、何がまだ大きな課題であるのかを、共に考えてみたい。

2025年1月25日(土)
13:00～17:30

対面 + オンライン 関西外国語大学

中宮キャンパス・マルチメディアホール

参加無料 事前申込

申込方法: QRコードから
申込締切: 1月23日(木)
オンラインは当日まで



<https://www.ocans.jp/kansaignidai/schedule?fid=R8C6tqGZ>

アクセス

大阪府枚方市
中宮東之町16-1

京阪電車 枚方市駅
京阪バス北3番・
北4番のりば(約8分)
「関西外大
中宮キャンパス」
下車すぐ



プログラム

開会挨拶	竹沢泰子(日本学術会議会員/関西外国語大学)
第一部 映画上映 (13:00～14:10) 司会 吉村真子(日本学術会議連携会員/法政大学)	
上映	「レモン」(制作 松原ルマ 8分) 「はざまー母語のための場をさがして」(監督 朴基浩 38分) 質疑応答
休憩(20分)	
第二部 シンポジウム (14:30～17:30) 司会 チャクル・ムラット(関西外国語大学短期大学部)	
趣旨説明	竹沢泰子
講演	教育の視点で「多文化共生」の30年を振り返る～たかとりコミュニティセンターの活動から～ 吉富志津代(武庫川女子大学)
講演	多文化共生を、自分の経験から振り返る 松原 ルマ ユリ アキズキ(広告関連会社員)
講演	外国ルーツの若者にとっての大学進学～母語教室をめぐる映像制作から見てきたもの～ 朴基浩(映像作家/NPO法人 IKUNO・多文化ふらっと)
講演	多文化共生の対象外とされる子どもたち～社会統合を高等教育の現場から考える～ 稲葉奈々子(日本学術会議連携会員/上智大学)
休憩(15分)	
全体討論	コメント 清水睦美(日本女子大学) 質疑応答 司会 竹沢泰子
閉会	